

令和4年度 調布市立第八中学校 学校評価報告書（学校長 佐藤 政彦）

学校の教育目標

○自ら考え行動する生徒 ○思いやりのある心豊かな生徒 ○心身ともにたくましい生徒

目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像

『心理的安全性に満ちた、さわやかで気持ちのいい八中』を目指して、次の生徒像を設定する。

- 「道徳的実践力」の育成・・・人権教育及び道徳教育を重視し、思いやりがあり心豊かな生徒を育成する。
- 「主体的課題解決力」の育成・・・主体的・対話的で深い学びを通して、自ら考え行動できる生徒を育成する。
- 「創造的行動力」の育成・・・学校行事・部活動・キャリア教育等を通して、心身ともにたくましい生徒を育成する。

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

	1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	<p>①人権尊重の精神、自他の生命尊重や思いやりの心を育成する。また、いじめ等の未然防止、早期発見に努める。いじめ対策委員会を毎週実施、生活アンケートを毎月実施、1年生対象に6月にSC全員面談を実施、学期ごとに個人面談を実施、12月にいのちの授業を実施。</p> <p>②生徒理解の深化を図るとともに、教師と生徒及び生徒相互の人間関係を形成する。毎週運営委員会で生徒情報を交換・共有、4月と9月に生徒理解研修を実施、学期の初めに学級ごとにグループエンカウンターを実施、生徒会によるあいさつ運動・全校レクを実施。</p>	<p>①授業規律を確立し、基礎的・基本的事項の確実な定着を図るとともに、主体的な学習態度を身に付けさせる。定期考査前自習教室を年8回実施、土曜学習部を1・2年生、年11回、3年生、年20回実施、朝読書を毎日10分間実施、英語・漢字検定を年6回実施。</p> <p>②教員の指導力の向上を図り、生徒一人一人の学習意欲を向上させる。教員間の相互授業参観を毎学期実施、生徒保護者による授業評価アンケートを年2回実施、授業参観時に保護者による授業アンケートの実施。チームによる若手教員の育成。</p>	<p>①心身ともにたくましい生徒を目指し、一校一取組運動や部活動等により、健康づくりや体力向上を図る。夏季休業中に水泳教室を5日間実施、12月に始業前の20分間走を5日間実施、部活動加入率95%以上を目指す。</p> <p>②望ましい食習慣を身に付けた健康な生活のために、全体計画に基づいた食育を推進する。また、食物アレルギー事故防止の意識啓発を図る。3年生を対象に喫煙・薬物乱用防止教室を年1回実施、学校保健委員会を年2回実施、アレルギー研修を年3回実施。</p>
	<p>(2) 成果(数値目標に対して)</p> <p>①「毎日学校へ行くのは楽しい」と肯定的な回答90%を目指し、結果は83.1%であった。 「自分は、他人を思いやる気持ちをもっている」と肯定的な回答90%を目指し、結果は87.1%であった。</p> <p>②「子どもは、学校での人間関係が上手に出来ている」と肯定的な回答90%を目指し、結果は87.0%であった。(P)</p>	<p>(2) 成果(数値目標に対して)</p> <p>①「毎日の学校での勉強で基礎的な学力を付けている」と肯定的な回答90%を目指し、結果は86.3%であった。 「子供は学校で基礎的な学力を身に付けている」と肯定的な回答80%を目指し、結果は82.0%であった。(P)</p> <p>②「先生方は分かりやすい授業をしてきている」と肯定的な回答95%を目指し、結果は95.4%であった。</p>	<p>(2) 成果(数値目標に対して)</p> <p>①「体育や部活動で基礎的な体力を付けている」と肯定的な回答85%を目指し、結果は78.5%であった。 「積極的に部活動に参加している」と肯定的な回答75%を目指し、結果は74.2%であった。</p> <p>②「健康に配慮し病気や怪我等に対応してくれる」と肯定的な回答95%を目指し、結果は98.6%であった。(P)</p>
学校関係者評価	<p>・マスク着用で過ごしている中学生。ともするとコミュニケーション力の不足に陥ってしまいがちな現状を、エンカウンターをはじめとする様々な施策で打破していこうという前向きな姿勢が素晴らしい。</p> <p>・道徳授業を参観した。命の大切さや人間関係作りなど、計画的に指導を行っているのが良い。</p> <p>・肯定的ではない回答に関しては、謙虚に答えているので、数値はあまり気にしなくてもいいのでは。八中の生徒さんは、真面目で素直な優しい子ばかりだと思う。</p>	<p>・コロナで体験活動に制限が出ている中、基礎的な学力について高い数字をたたき出していることが素晴らしい。学力は知識や技能だけでなく思考力や表現力も重要であること、単なる暗記にとどまらず身の回りや他の知識と結びつけながら深い学びへと進化を促していくことも必要。</p> <p>・生徒が積極的に参加できる仕組みづくりを行ってはどうか。放課後の自習教室など。</p> <p>・授業を参観し、質の高さを感じた。また、生徒との距離感の近さを見ることができた。</p>	<p>・コロナで運動不足が心配されている中、様々な施策で生徒が楽しく体を動かし健康に生活することができるような工夫がされていて素晴らしい。アレルギー事故10年ということで再度啓発している様子も素晴らしい。</p> <p>・運動部への入部率が上がらないのは、なんらかの理由があるのでは。その辺を考察することで(2)の数値が向上するのではないかと。</p>

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

	4 保護者・地域・小学校との連携	5 特別支援教育の充実	6 学校行事の充実
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	<p>保護者、近隣小学校、地域の健全育成団体等との連携をより一層深め、学校への協力体制を構築する。保護者会を各学期実施、健全地区委員会・まちづくり協議会の会合に月1回出席、地域行事(このぼりプロジェクト、桜まつり等)への参加、10月に小中連携行事を実施。</p>	<p>不登校生徒や生活指導上配慮が必要な生徒に対して、ガイダンス機能の充実を図り、子どもに寄り添った指導を展開する。インクルーシブ教育の視点に立った授業の構築、特別支援校内委員会を毎週実施、校内通級教室と所属学級との連携、個別指導計画の活用。</p>	<p>学校行事のねらいを明確にし、集団における所属感や心の絆を深めさせ、学校生活を充実・発展させようとする自主的、実践的な態度を育成する。体育祭、合唱コンクール、学習発表会・作品展、集団宿泊的行事の実施、生徒実行委員会を中心とした企画・立案・運営。</p>
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
	<p>「便り等で学校や子どもたちの様子を伝えている」と肯定的な回答95%を</p>	<p>「八中は、安全で安心な学校だと思う」と肯定的な回答90%を目指し、結</p>	<p>「学校行事に積極的に参加している」と肯定的な回答95%を目指し、</p>

	目指し、結果は95.0%であった。(P)	果は91.8%であった。	結果は85.3%であった。
学校関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・八中を見学していつも素晴らしいと思うのは、斜に構えて擦れているような生徒は皆無であり、健全で明るい生徒が多く、良い意味で自由を謳歌し、教室が開放的な雰囲気にあふれていることである。 ・八中だよりにより学校の様子が分かりやすい。自治会にも回覧をしている。 ・積極的に連携していただいているので、今後も継続してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校支援や多様な特質をもった生徒への対応など現代的な課題についても正対して素晴らしい。ICTをさらに活用し、個別最適な学び、協働的な学びについて引き続き理解を深めてほしい。 ・インクルーシブ教育の具体的な指導内容について知りたかった。 ・他地区からの入学希望が多いのも、特別支援教育が充実しているからだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで各種活動が制限される中、工夫して様々な行事に取り組んでいる。マスクをした合唱コンクールなど難しい部分もあるが、心身ともに豊かな体験を大切にしたいという学校としての方針を意図的、計画的に実施していて素晴らしい。 ・コロナ禍で制限は多いと思うが、来年度は、思い出に残る行事をさらに増やしていただきたい。

人材育成・組織運営	
自己評価	<p>○主幹・主任教諭を核とした組織的な若手育成 1・2年次教員5名に対し、主幹教諭、主任教諭、教科指導担当を割り当て、4人一組のチームを編成し、OJTを推進した。主幹教諭には研修報告書の点検、主任教諭には週案の点検、教科指導担当には指導案作成支援を担当させた。</p> <p>○学年・分掌主任の意識の向上 運営委員会や主任会で、学校課題の共有と解決策の検討を行わせ、主任としての意識を醸成した。各担当からの起案は、必ず主任を通すことで、担当任せにすることなく責任を持たせた。</p> <p>○地域と連携した人材育成・学校運営 地域の人材と連携・協力することで、学校と地域とが協働して自校の教育活動を向上させる手立てを学ばせた。また、地域の会合や行事に積極的に参加し、生徒や学校の様子を外部へ発信し、地域に開かれた学校運営を推進した。</p>
学校関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な対応と若手育成という難しい課題を解決するための取り組みがなされていて素晴らしい。中学校は教員の数も多くラインケアの充実が必要と考えるが八中は学校全体としての統一感の中で必要性を持って実施、具体化されているという現在の姿はなかなか簡単なようで難しいことだと思う。 ・校長の学校経営プランの実現に向けて、汗やアイデアを出せるミドルリーダーたちの存在が透けて見える。八中の大きな財産なのではないだろうか。 ・学校だよりやまちづくり協議会での報告等から、学校の様子がよくわかります。評価内容が見えにくい項目なので、回答しづらい面もある。 ・若手をフォローできる指導体制は、とてもよい。今後も、コミュニケーションを大切にしていきたい。

中期的な経営目標の達成状況	
1	生活指導・進路指導・安全指導の充実を図り、豊かな心を持ち、自他を尊重し道徳的な行動ができる力を養うことができた。
2	学習意欲を喚起し、確かな学力の定着を図り、主体的に探究し課題を解決する力を養うことができた。
3	特別支援教育や食育等の充実を図り、心身ともに健康で、持続可能な社会づくりに貢献できる力を養うことができた。
4	保護者・地域との連携を深め、社会に開かれた教育課程の実現することができた。
5	地域人材を活用した学習支援等により、地域・保護者が一丸となった学校づくりを推進することができた。
6	学校行事等の体験的な活動を通して、創造力を育み、自己有用感を育むことができた。しかし、コロナ禍で実施困難な行事もあった。
次年度の重点課題	
<p>○魅力ある学校づくり（確かな学力の定着、魅力ある授業の構築、学校行事の充実、特色ある教育活動）</p> <p>○特別支援教育の充実（配慮を要する生徒への支援、校内通級教室拠点校としての取組、指導スキルの向上、食育指導の充実）</p> <p>○地域・保護者と連携した学校づくり（地域学校協働本部の活用と連携、土曜学習部・自習教室の運営、各種検定の実施）</p>	